

## 平成30年第4回西会津町議会臨時会会議録

### 第1. 招 集

1. 招集日 平成30年 8月24日
2. 場 所 西会津町役場

### 第2. 開会、閉会及び会期

1. 開 会 平成30年 8月24日
2. 閉 会 平成30年 8月24日
3. 会 期 1日間

### 第3. 議員の応招・不応招

#### 1. 応招議員

1番 三 留 満	6番 猪 俣 常 三	11番 青 木 照 夫
2番 薄 幸 一	7番 伊 藤 一 男	12番 荒 海 清 隆
3番 秦 貞 継	8番 渡 部 憲	13番 清 野 佐 一
4番 小 柴 敬	9番 三 留 正 義	14番 武 藤 道 廣
5番 長谷川 義 雄	10番 多 賀 剛	

#### 2. 不応招議員

なし



平成30年第4回西会津町議会臨時会会議録

平成30年 8月24日(金)

開 会 10時10分  
閉 会 12時11分

出席議員

1番	三 留 満	6番	猪 俣 常 三	11番	青 木 照 夫
2番	薄 幸 一	7番	伊 藤 一 男	12番	荒 海 清 隆
3番	秦 貞 継	8番	渡 部 憲	13番	清 野 佐 一
4番	小 柴 敬	9番	三 留 正 義	14番	武 藤 道 廣
5番	長谷川 義 雄	10番	多 賀 剛		

欠席議員

なし

地方自治法第121条の規定により説明のため議会に出席した者の職氏名

町 長	薄 友 喜	商工観光課長	伊 藤 善 文
副 町 長	工 藤 倫 也	農林振興課長	岩 渕 東 吾
総 務 課 長	新 田 新 也	建設水道課長	石 川 藤 一 郎
企画情報課長	矢 部 喜 代 栄	会計管理者兼出納室長	長谷川 浩 一
町民税務課長	五十嵐 博 文	教 育 長	江 添 信 城
福祉介護課長	渡 部 英 樹	学校教育課長	玉 木 周 司
健康増進課長	小 瀧 武 彦	生涯学習課長	成 田 信 幸

会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	渡 部 峰 明	議会事務局主査	渡 部 和 徳
--------	---------	---------	---------

# 平成30年第4回議会臨時会議事日程（第1号）

平成30年8月24日 午前11時開会

開 会

開 議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 付議事件名報告

日程第4 提案理由の説明

日程第5 議案第1号 平成30年度西会津町一般会計補正予算（第2次）

日程第6 議案第2号 さゆり公園野球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

閉 会

- 議長　皆さんこんにちは。
- ただいまから、平成30年第4回西会津町議会臨時会を開会します。（10時10分）
- これから本日の会議を開きます。
- 本日の議事日程は、お手元に配布したとおりであります。
- 日程に入るに先立ち、事務局長から諸報告をいたさせます。
- 事務局長、渡部峰明君。
- 事務局長　ご報告いたします。
- 本臨時会に町長より別紙配布のとおり2件の議案が提出され、受理しました。
- 本臨時会に議案説明のため、町長、教育長に出席を求めました。
- なお、地方自治法第121条の規定に係る説明委任者として、町長から副町長、各課長及び会計管理者兼出納室長を、教育長からは学校教育課長、生涯学習課長をそれぞれ出席させる旨の通知があり、受理いたしました。
- 以上であります。
- 議長　以上で諸報告を終わります。
- 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
- 会議録署名議員は、会議規則第116条の規定により、1番、三留満君、8番、渡部憲君を指名します。
- 日程第2、会期の決定を議題とします。
- お諮りします。
- 本臨時会の会期は、本日8月24日の1日間にしたいと思います。
- ご異議ありませんか。
- （「異議なし」の声あり）
- 議長　異議なしと認めます。
- したがって、会期は本日8月24日の1日間に決定しました。
- 日程第3、付議事件名報告を行います。
- 付議事件名につきましては、お手元に配布の議会臨時会議案付議事件記載のとおりであります。
- 日程第4、提案理由の説明を行います。
- 町長の提案理由の説明を求めます。
- 町長、薄友喜君。
- 町長　（町長提案理由の説明）
- 議長　日程第5、議案第1号、平成30年度西会津町一般会計補正予算（第2次）を議題とします。
- 本案についての説明を求めます。
- 総務課長、新田新也君。
- 総務課長　議案第1号、平成30年度西会津町一般会計補正予算（第2次）の調整についてご説明を申し上げます。
- 今次補正の主な内容であります。本町及び福島民報社、福島県森林林業緑化協会、中野区村おこし実行委員会が主催となり、大山祇神社周辺をコースとして開催を予定してお

ります、第30回ふくしま緑の百景歩こう会の開催経費の予算計上であります。

それでは、予算書をご覧ください。

平成30年度西会津町の一般会計補正予算（第2次）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ185万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ61億4,083万2千円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分、及び、当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。補正の内容であります。事項別明細書でご説明いたします。

4ページをご覧ください。

まず、歳入であります。17款繰入金、2項1目財政調整基金繰入金185万円の増額は、今次補正において不足する財源を繰入するものであります。

次に、歳出であります。6款農林水産業費、2項1目林業総務費185万円の増額は、ふくしま緑の百景歩こう会の開催負担金の計上であります。

以上で説明を終了させていただきますが、よろしくご審議いただきまして、原案のとおりご議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長　これから、質疑を行います。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

（「討論無し」の声あり）

○議長　討論無しと認めます。

これから議案第1号、平成30年度西会津町一般会計補正予算（第2次）を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長　異議なしと認めます。

したがって、議案第1号、平成30年度西会津町一般会計補正予算（第2次）は原案のとおり可決されました。

○議長　日程第6、議案第2号、さゆり公園野球場スコアボード改修工事請負契約の締結についてを議題とします。

本案についての説明を求めます。

建設水道課長、石川藤一郎君。

○建設水道課長　議案第2号、さゆり公園野球場スコアボード改修工事請負契約の締結について説明させていただきます。

お手元に入札結果及び、説明資料を配布しておりますので、議案書と一緒にご覧いただきたいと思います。

議案の説明に入ります前に、工事の概要等について説明させていただきます。

今回発注します工事は、さゆり公園長寿命化計画に基づき、さゆり公園野球場に設置してあるスコアボードの改修工事であります。主な内容としましては、既設のスコアボード

はバックスクリーンに改修し、新たにスコアボード及びサブスコアボード並びに国旗等を掲げるフラッグポールなどを設置するものであります。

工事につきましては、建築一式工事であり、予定価格が5千万円を越えることから、県に指名参加願いを提出している会津管内のAランク業者の中から本町に指名参加願いを提出しており、町発注の建設工事実績のある業者、5社を指名し、去る8月21日に入札会を執行いたしました。

入札の結果は、1回目の入札において、いずれも予定価格に達しなかったことから、再入札を行いましたが、再入札でも落札者が無かったことから、地方自治法施行令第167条の2、第1項第8号の規定により、武田土建工業株式会社と随意随契約により工事請負仮契約を締結いたしました。その価格は5,525万円であり、この金額に消費税及び、地方消費税相当額を加えた合計額5,967万円が8月23日付、同社代表取締役須藤研二氏と工事請負仮契約を締結いたしました。なお、本工事の竣工期限は平成30年12月25日であります。

以上で説明を終了させていただきますが、議会の議決に付すべき契約及び、財産の取得、または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決をお願いするものであります。よろしくご審議くださいますと、原案のとおりご議決賜りますようお願いいたします。

○議長　これから質疑を行います。

7番、伊藤一男君。

○伊藤一男　えっとですね、あの今回のさゆり公園の野球場スコアボードの改修工事のですね、この入札なんですけど、1回目の入札でだめで、また再度入札しても落札しなかったと、いうようなことなんですけど、この点についてはですね、あの最低価格の設定、そういったものには、その、問題はなかったのか、その点についてお伺いをしたいと思います。

えっと、あともう1点はですね、あのえっとあとはあの、この入札については、えっとあのスコアボードの改修っていいですか、なんかその、今までのスコアボードのそういった古いやつを撤去する、そういったのも入っているということではありますが、その他にスコアボードバックスクリーンのやはりあの、塗装の色がですね、かなりこう、剥げているといいますか、薄くなっていますので、その辺のことも入札の中に入っているのか、2点をお伺いをしたいと思います。

○議長　石川建設水道課長。

○建設水道課長　はい、お答えしたいと思います。予定価格の設定についてのご質問から申し上げたいと思います。

設計、あのスコアボードの設計の単価につきましては、県の土木部発行の単価票の記載を、のとおり3社以上から徴した見積りの最低価格、最低価格を設計単価として採用させていただいております。

それから、設計者、それから積算に関しましてでございますけども、設計者につきましては、昨年度で終わっておりますが、あの、しっかりと設計業者さんに設計していただきまして、そしてあの、県の機関でございますところで、積算業務を今年度早い段階でやっていただきました。

したがって、それらの内容については、信頼できるということで事務手続きを進め

てまいったところでございます。

それからあの、バックスクリーンになるあの、塗装の関係でありますけれども、今回の工事できれいにするような内容となっております。

○議長 10番、多賀剛君。

○多賀剛 あの私もあの、いわゆるこの入札が2回も不調になって最終的には随契約というようなことでありますけれども、まああの、単純に言ってその、いわゆる見積もりが甘かったのかなと、私は感想を持っております。

それとですね、その今回5,967万円というような形で、契約をしたいということでもありますけども、いわゆるこの今回の工事は、いわゆるスコアボードっていう商品が占める割合っていうのはどのくらいあるのか、その他にいわゆる基礎工事、設置工事、あるいは既存のスコアボードの改修っていうか目隠しをしたり、塗装、今お話しにある塗装したりと、うことがありますが、いわゆるそのスコアボードとしての商品はこの金額のどのくらいを占めているのか。

それとですね、まああの、この資料を見させてもらおうと、まああの各種メッセージ等が表示されるようになっていようであります、私、こんな立派なものだったのかなというので、改めてこう見てるんですが、最終的にはもちろんスコアボードですから、点数がこう、入る、あるいはボール・ストライク・アウトの表示がある、時計が当然必要だと、あとはあの、いわゆる打順なんかをね、こう分かるような形であればいいのかなという思いでございましたが、これLEDパネルでこういう各種メッセージまで出るようになっていようであります、これスコアボードをいわゆる選定したっていうかね、今全部こういうスコアボードなんだって、新しく作る場合はそうなんだっていえしょうがありませんが、いろんなこの調査をしたのか、スコアボード自体はいろんなメーカーがあると。まあシチズンであれセイコーであれ、エプソンであれ、三菱であれ、いろんなあのスコアボードがあると思いますが、そういうところで、いわゆるピンからキリというのもおかしいですけれども、いわゆるいくつかのランクがあると思うんです、その中で、調査をしたのか、今のあの、この、今のなんだ、話だと、県の設計単価によって積算したやつっていうのがそれはあの、基礎工事だとか、取り付け工事、あるいはスコアボードの改修工事については分かりますが、いわゆる相当このスコアボード単体の値段の占める割合っていうのは私大きいなという感じしております。金額は分かりません。

それと、これはあの他愛もないことではありますが、議案書ではさゆり公園の野球場というようなことではありますが、あの、私の認識だと福島ホープス西会津球場っていう命名権を与えて、そういう名前が付いていると思いますが、いわゆるネーミングライツ、これ有償であろうが、無償であろうが、命名権を与えたら公式的にはやっぱりその、福島ホープス西会津球場っていう名前を使うべきではないのかなと、思います、これ条例上こうなっているからこうやらざるを得ないというんであれば分かりましたが、その点をお尋ねします。

○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 はい、お答えしたいと思います。全体の金額の中でそのスコアボード本体の占める割合ということでございますが、概ね50パーセントでございます。



○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 その見積りの関係について改めて申し上げたいと思います。あのスコアボードの本体も含めまして、先ほど申し上げましたように、まああの県の基準に則りまして、3社以上からそれもあの、見積もりを取った中で、その中で最低価格の設計単価を採用させていただいておるという内容でございます。

それから、しっかりした設計事業者、それからあの、積算については県の機関ということで、これはどこの市町村も同じ様な取り扱いでやってございますけども、そういった中で出していただいた金額を元に、手続を進めてきたということでございますので、私どもとしましては、その内容、信頼した中で、作業を進めてまいりましたのでご理解いただきたいと思います。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 多賀議員のご質問のうち、3点目の打順の表示並びにですね、周辺を調査したのか、並びに工事名が福島ホープス野球場ではないのか、という部分のご質問にお答えさせていただきたいと思います。

えーこちらの方ですね、まず打順の表示でございますが、こちら一応打順の表示と守備位置までは、掲示となるような仕様という形となっております。

続きまして、4点目、え、え、はい、4点目の部分でございますが、まず周辺を調査したのか、と言うことで、この程度ですね、スコアボードを表示しているという部分でございますが、一応周辺ではですね、下郷町大川ふるさと公園の方にですね、この程度のスコアボードが調査されていると、いう部分も、あとまた会津若松市の部分についてはちょっと規格が大きすぎるということで、ああいう部分まではいらないだろうという形で調査した部分もございます。またあの、新潟県の五十公野公園の方の野球場とかですね、三条市の方の野球場という部分を調べさせていただきましたが、まあLEDの表示という部分についてはですね、町の部分ですと、あの程度がよろしいんじゃないかということで、下郷町さんのその部分を参考にさせていただいたというのが以上でございます。

最後に5点目ですね、工事名は福島ホープス西会津球場ではないのかという部分でございますが、一応こちらの方はあの、都市公園関係の交付金を使っているということからですね、都市公園名がさゆり公園という形の中の球場だということで、大変あれですが、さゆり公園野球場という形にさせていただいたということでございますのでご理解願います。

○議長 10番、多賀剛君。

○多賀剛 分かりました。あの、いわゆるその積算に関しましては、まあね、しっかりした所で間違えなくやったっていうのは当然そう言わざるを得ないでしょうけども、この表示例、先程言ったように、今のスコアボードは最低このぐらいのレベルになっているんだよということであればいいんです。それで、それでね、1回目の入札では何社かな、あの1、2、3、4、5社あの納札してるんですよ。その中で先ほど言ったように、各札入れたその商品ですね、例えばシチズン製が多かったのか、エプソンだかセイコーが多かったのか、三菱がとか、そういうスコアボードのあの、なんて言うんだ、機種名、そんなとこまではまだ把握してませんか。まあそれは分かんなかったらいいです。まあ相対的な金額で

入札したということであればいいんですけれども。

それと先程言うのを忘れましてけれども、この一般的にスコアボードっていうのは、先程言ったようにバックスクリーンの上、あるいは脇に付のが一番多いわけです。あのなんでもかっていうと、大概是バックスクリーンを越えてくるようなホームランは少ないだろうと、というようなことで位置的にもそこだし、見やすいからっていうようなことでありますが、今回のこのイメージ図を見ますと、ライト側の外野席にこう、設置するということがあります。スコアボードの上に設置するには費用が莫大にかかって大変だというようなことでご理解、あの理解しましたけれども、これライト側に付けた時に、比較的この球が当たりやすいところ、ホームランボールが当たりやすい位置なのかなと、いう思いがしますが、いわゆる防弾性、防弾性っていうのかな、球が飛んできた時によくプロ野球なんか見てるとね、特大ホームランでスコアボード直撃で、液晶パネル・LEDパネル破損したなんていうニュースなんか聞きますので、そのいわゆる対球性っていうかね、球飛んできたときの、はさすけなくなっているのか、まあそれさっき忘れましてのでそれもお尋ねします。

○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 はい、最初の質問にお答えいたします。あのその本体のメーカーと申しますか、そこまではあの承知してございません。それぞれで入札されたということでございます。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 はい、ご質問にあった打球による故障等はないのかというような部分のご質問にお答えさせていただきたいと思っております。

あのまず、先程の打順っていう部分で言ったんですが、だいたいイメージのような下部、下の欄にですね、こちらのイメージ図ですね、こちらの方の下の欄に打順とかの部分が出るような形のイメージであるっていうことはまず打順の分についてはご理解いただきたいと思っております。

またあの、確かにライト側に設置するので、もし万が一ホームランボールとか打球が当たった場合どうだと、いうことでこちらの方ですね、確認しております、一応こちらの方ですね、一応あの球の方が当たっても、LED自体、基盤等に影響がないような形の仕様だということで、設計の方からは確認しておりますので、打球性には、対打球性に対しては当たっても大丈夫だと、いうような形では確認を取っております。

○議長 8番、渡部憲君。

○渡部憲 これ、入札状況なんですけどね、多賀議員さんとちょっと、かみ合うところありますので、これ、再入札した場合ですね、4社が辞退と、これについてどう思いますか。4社が辞退するということは、どういう理由があって辞退したんでしょうか。

もう一つはですね、このボード、スコアボードをやった場合に年間どのくらいな維持管理費がかかると思いませんか。それをちょっと教えていただきたい。

○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 再入札の結果についてのご質問にお答えしたいと思います。

再入札につきましては、資料のとおり1社のみということで、4社が辞退ということでは

ございました。これにつきましては、あのその辞退された4社の皆さんが、あの今回の入札には、再入札ではちょっとそれぞれで判断されたと、言うしかないかなという風を感じておりますけれども、それはあの会社さんの判断という風を感じております。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 8番、渡部議員の年間の維持管理費のご質問にお答えさせていただきたいと思います。

まずあの、維持管理費でございますが、一応あの、町としてだいたい予定してる分が年間、まあ安価な部分であればよろしいということでございますので、だいたい年間はこれから工事が完了してから、これからメーカーとのですね、契約になるかと思うんですが、安価になるような形では進めていきたいと考えていますが、参考までにですね、消費電力のことを申し上げますと、だいたいですね、こちらあの1試合3時間と計算いたしまして、3時間でだいたい消費電力は270円程度と、まあLEDですので、そのくらいの安価な形になると。その他の維持管理費については今後、協議の上決定していきたいと思っております。

○議長 8番、渡部憲君。

○渡部憲 今課長から答弁いただきましたけれども、この入札の再入札でね、4社が辞退したからって、その理由をはっきり言って課長分かんないっていうような感じですよ。あの会社の方に何で辞退したんだっていうことは聞かなかったんでしょうか。

こういうことをね、やっぱ他のまあこの本体自体が3千万、そして工事が3千万近くですよ、工事費がね。そうすつと3千万くらいでやってらんねんだって言うような話しじゃないと思うんですよ私はね。あの建設事業者さんは、だからそういうことをやはりね、何で辞退したんだよと、そうちゃんとした正確な理由をやっぱ聞くべきじゃなかったんでしょうか。納得できませんよねなかなか。

○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 はい、お答えいたします。あの繰り返しになりますけれども、再入札において、1社のみ応札、4社は辞退ということに関しましては、直接聞く、うんぬんということとはしてございませんし、各社の判断だと、いうことをご理解いただきたいと思います。

○議長 3番、秦貞継君。

○秦貞継 えっと何点か伺います。まずですね、あの先ほどの説明で落札価格が税込みで5,967万円っていう話だったんですが、先程の説明で50パーセントがスコアボードですけど、残りの50パーセント、この予算でどんなものが占めているのか、私てっきりスコアボードが全体で設置とか含めて5,900万のかなと思ってたんですけど、半分がスコアボードって聞いてちょっとびっくりしたんですが、この残りの50パーセント、どのような内訳だったのかまずお聞きしたいと思います。

あとあの、私の勝手の推測かもしれませんが、今までのスコアボードをこう、改修して、なんかこう、作るのかななんて私は考えてたんですけど、あの今まであったスコアボードをですね、例えば改修して、あのこの写真、たぶんテレビ見てる人たちは分からないと思いますけど、この写真に出てるあの今まであったスコアボードの所より高い所に

そういったものがあれば非常に見る方も見やすいと思いますし、今まであった物の再利用とかできなかったのかなと、またそういうことに関して試算をされたかどうかをお伺いいたします。

あと、えっと先ほど多賀議員もおっしゃってましたが、ライト方向にこの位置でこの写真のイメージで作られると思うんですけども、あの見やすさとか、そういった面でちゃんとあの検討されたかどうか。どうしてこういう場所でこのような位置になったのかもちょっと分かりやくお聞きしたいと思います。以上でございます。

○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 お答えいたします。工事費の内訳というようなことでございます。

先程申し上げましたように一番大きく占めるのはスコアボードのその本体という部分でございます。あとはそれを設置するためのやっぱりあの建築工事が伴います。あとは既存スコアボードの改修工事と、先ほどあの見ていただいたとおりであります。今までの点数表ですとか、あの、ポールですとか撤去してきれいにすると、というような感じの内容でございます。あとは電気設備の配線等もございまして、当然そういう電気工事。あとは機械の設備の工事と、大きくいうとこんなような内容でございます。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 3番議員の2点目3点目の、まず2点目の既存の利用を検討しなかったのかと、いう部分をまずお答えさせていただきたいと思います。

まずあの既存のスコアボードの部分につきまして、利用は確かに考えたという部分はございますが、現在のこの得点板等の表示灯の部分のですね、躯体等がですね、やはりちょっと若干錆びて、LEDをもし乗せた場合にはですね、補強工事等が必要になるという部分がございます。今回ライト側というような部分で設置を検討したと、いうのが主な理由でございます。確かに見やすさというような部分であれば確かに既存の部分の改修の方がよろしいかと思うんですが、やはりその部分の工事費がかかってしまうという部分からですね、予算的には厳しいというような判断の上こういう形になったというのが主な理由でございます。

またですね、3点目の見やすさについてということでございますが、一応こちらの方ですね、先ほども申し上げましたが、周辺地の調査ということで下郷町の大川ふるさと公園の方のスコアボードを見させていただきまして、こちらもこういうような配置になっているという部分で特段運用上問題はなかったのかと、というような質問に対しても特段可視距離が150メートル以上あるということでございまして、こういう形で設置しても大丈夫だろうと、いう風な判断からこういう形にさせていただいたということでございます。

○議長 3番、秦貞継君。

○秦貞継 あの、単刀直入に申し上げてこのスコアボードっていうのは、こんなに低い所に建てるものなんでしょうか。あの今までのスコアボードもこれだけ高い所に建てるにも関わらず、今回今までのスコアボードを残してさらに右下の方にちょっと、こう小さいのを今までより、一回り二回り大きくなったものを置くことになったっていうのは私非常にちょっと、イメージ的にその、あの、なんていうですか、ボールが当たっても大丈夫だとか、あのそういう問題じゃなくて、要はお客さんが西会津球場でホープスの試合を見に

来た時に、西会津の球場を見てどういう印象を持つかってこともやっぱ考えなくちゃいけないと思うんです。で、そういう時にあのこないだ研修で行ったあの開成山なんかもそうなんですけど、パッと見てもすごく分かりやすいように、きちっとあの結局スコアボードが出てて、次誰が出るのか、今打順が何番なのか、予算的なものはありますから、ああいうものを同じのを作るってことは恐らくできないかもしれませんが、もうちょっとその検討する余地がなかったのかなと思いましたので、そこと、その今、今までのスコアボードの利用は考えたと、で若干の錆び補強等が必要でと言ってますけど、あの試算はされてどのくらい金額がかかると、それで予算がどのくらいかかるので、ちょっとこれは難しいっていう判断をされたか具体的な数字とかあればそこも教えていただきたいと思います。とりあえずそんなところですね。はい。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 はい、再質問にお答えさせていただきたいと思います。

スコアボードの再利用という形でのまずご質問にお答えしたいと思いますが、こちらのクラスですね、スコアボードの改修という形の事例で調査申し上げますと、一番近くではですね、会津若松市の会津球場の部分を調査させていただきました。こちらの方ですね、同等レベルの物で回収した場合ですね、その工事費の額を聞きましてところ、約2億5千万だと、というような話しになっておりました。そういう額の部分につきましてなかなか町の負担が大変だということから判断からですね、今回こういう形にさせていただいたというのが一番大きな理由でございます。

続きまして、あとのその印象・見た目が重要だということでこういう形であのライト側にスコアボードでは印象が良くないんじゃないかというようなご質問でございますが、現にこういう形の球場でですね、やっているあの、ただ1軍、いわゆるNPBいわゆるプロ野球の部分の中ではなかなかございませんが、2軍レベルのですね、イースタンリーグとかウエスタンリーグの中ではこういう球場などで、例を挙げますと、仙台の楽天イーグルの泉球場等については、こちらの方の試合でやってるというような部分でございますので、こちらの部分でもある程度できると、というような形で判断させていただいたということでございます。以上です。

○議長 3番、秦貞継君。

○秦貞継 まあ、ね、西会津、なんでしたっけ、さゆり公園西会津ホープス球場でしたっけ、ホープスっていう名前をいただいてやって西会津のね、あの宣伝にもこれから大いに活躍してもらおうと考えられるような球場でございますので、やっぱりそういったあの、来ていただいた方がやっぱ好印象を持っていただくような球場をやっぱりこれからも考えていかななくちゃいけないと、確かにお金は掛かることでございますが、お金だけにこだわらず、もちろんそれは大事なところですけども、あの、もうちょっとこう、私ははっきり申し上げますが、この高さよりはもうちょっと高い所にスコアボードは置いた方がいいんじゃないのかなというふうに思います。

あとこれ全体を通してなんですけれども、あの先ほどもね、建設水道課長にもお伺いしましたが、あの落札価格が5億9千万ってのはそれ分かるんですけども、半分結局、あ、5,900万です。失礼しました。5,967万円てのは分かるんですが、その内訳に関して

も、しかもこの今の説明でもそうですけれども、この紙を渡されて、どういったものを作るのか、で、今までの例えば、あったスコアボードも今質問の中でそのなんか、処理しますっていうんですけど、要はめくらぶたってことでしょ。それも写真見ないとわかりませんよね。こういったものも例えば今まで全員協議会、この会が始まる前にもあった訳ですから、こうったところで丁寧な説明をして、より分かりやすく説明してもらった方が、我々も質問しやすいし、もっといい提案もできると思いますので、今後ぜひその辺もお考えいただいた方がと思いますが、最後によりしくお願いします。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 まずあの、印象の良い球場ということでございますが、まずあのこちらの球場ですね、福島ホープスさんだけのためではなくてですね、いろんな形で中学生から少年野球も使えるという様な部分になっております。そういう形の、そういう方々にもですね、自由に今度スコアボードを使っていただいて、あそこの球場行けば名前も、名前とか出れるよ、打順もできるよっていうような部分の形でですね、そういうような利活用方法をしながらですね、その、球場の価値を上げていきたいと考えておりますのでご理解いただきたいと思います。

○議長 石川建設水道課長。

○建設水道課長 ご質問にありました、全協などでのもっと詳しい説明というようなお話しがございました。今後は十分あの検討してより良い皆さまへの情報提供ができるように努めてまいりたいと思います。

○議長 6番、猪俣常三君。

○猪俣常三 まあいろいろと、各議員の方からお話が出てまいりました。私としましても感じたところが何点かあります。

まず、ミニスコアボードが下の方に持ってきたということは、まず見づらいついていうことが一つです。それから今センターラインにありますこのバックスクリーン、この所の今まで点数が書かれて、出ていたこの高さはどなたが見てもいい角度に見える場所であるということ、これを忘れて改修改善をしようとする、まずは野球場ではなくなってしまうと、いうことを申し上げておきたいと思います。

で、予算が2億もかかる、云々かかるというお話しであるわけですが、今回5,900万というお金でこれを改修するということではありますでしょうが、まずは、野球の環境を整えていただくには、この改修の仕方はちょっとまずいと私は感じてならないわけです。

ここは、もう少し考えていかないと、他の野球部の方々か、非常にいい場所ですよ、で、今回、スコアボードをどうなってんでしょかっていう2お話しも聞きました。今最近の所では、大学生が使っております。非常に使い勝手のいい球場ですよって言ってましたね。でこれが今下の方に改修改善がしようとする、あのバックスクリーンはどうしたの、ということがまずは出てくる可能性が高いので、まずそこら辺のところはもう一度考えてみる必要があるんじゃないかということをお尋ね申し上げたいと思います。

○議長 伊藤商工観光課長。

○商工観光課長 6番議員のご質問にお答えしたいと思います。

まずあの、ライト側が非常に見づらいんじゃないかというようなご指摘でございますが、

一応こちらの方ですね、先程も申し上げましたが、何町村か調査した上でこの場所でも大丈夫だろうという形から設置したという部分でございます。

でまた、見づらさという部分ではございますが、一応こちらの方ですね、一応可視距離、認識できる距離がある程度150メートル以上のものであればと、いうことで考えておりますので、今まで以上な物、目の高さよりちょっと若干違いますが、見やすいような形では設置しているという部分でございますので、ご理解をいただきたいと思っておりますのでございます。

また、利用者にとってですね、非常によろしくないんじゃないかという部分、つい最近の大学生の部分と言いましたが、こちらの方につきましてはですね、現状の部分よりも人が昇って回転板とかやるよりもですね、こういうふうなLED化にしましてですね、ネット裏ですね、操作できるような形、利便性、あるいは操作性とかの部分も考えてこういう形にさせていただいたというような部分でございますので、利用にあたってはですね、十分周知の上、実施していきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

○議長 6番、猪俣常三君。

○猪俣常三 どうしてもこのセンターより、バックスクリーンというんですけれども、このバックスクリーンが利活用ができないってことそのもの自体がもうこの野球場にふさわしくなくなってしまうっていうこと、お尋ねをしておりますので。

まずはここのバックスクリーンを利用されないで、これを作るっていうことになってしまうと、私が行ったのは、野球場じゃなくなってしまうことを申し上げてるんです。だから、ご理解をしてくださいと言われてもとてもご理解のできる状況じゃないと、いうことなんですよ。

まずは、これを直すんだったらもう一度、あの、何億ではなくても、こういうふうに行ける、できる可能性のある素案を作れなかったのかということなんです。

んで、はっきり申し上げますと、この下の方にミニスコアボードを作ったけど、はっきりあの、数字は見えてきません。見えません。ただ記入してるだけのことだから、分かりませんよ。私の経験上からすると、絶対あの、良くは見えてないはずですよ。

だから皆あのキャッチャーの方のバックネット側に置いて記入してるのが精一杯なわけですから、だからボックス、今のバックスクリーンの上にちゃんと数字を出して表示してくれるんだったら見えるけども、この状況では見えないということ。お答えください。

(「議事進行」の声あり)

○議長 議事進行の発言がありましたので、発言を許します。

9番、三留正義君。

○三留正義 えっとですね、質疑の今、時間をいただいている訳なんですけども、ただ今質疑の中で自己の考えを踏襲し、答弁を迫っているように私自身は聞こえるんですが、まあ議長がそれをお許しになるのか、ちょっとその整理について質したいと思います。

○議長 今の質問ですが、あの今のところは質疑の段階であります。まあ意見も入ってましたけども、最後に質問という形をとってますのでこれを許します。

ただ、それが反対討論、討論とかなんかになれば中止しますけれども、質疑という形で一応やってください。では、続けます。

町長、薄友喜君。

○町長　あの私の方からちょっと答弁させていただきますけれども、今ほどみなさんお意見を、お話を聞いていて、じゃあ、あのさゆり公園の球場がどれだけの利用、あるいはどういう団体が利用するのか、それは会津球場、開成山球場、あるいは福島球場みたいなあいう大きな施設のいわゆるスコアボードだったら分かります。でも西会津のあのさゆり公園の野球場がですね、どれだけの利用があるのか。今現実にあるのが福島ホープス、それから大学のあるいは練習ですよ。あるいはもしくは高校のそういう大会とかなんかっていうのはありますけれども、じゃああのスコアボードをあの若松や郡山と同じようなスコアボードにするには何億という金がかかるわけですよ。で、わずかそういう利用の、わずか福島ホープスだって2試合か3試合。そういう中であれだけの設備をしないといけないか、ここをやっぱり考えていただきたい。

で、じゃあのスコアボードどういうふうなスコアボードを設置したらいいかっていうことは、それは十分検討しました。今のスコアボードを何か改修できないか、でもこれを作るにはもう2億3億かかるわけですよ、で、専門家と言いますか、いわゆるはっきり言いますと、福島ホープスの監督さん、監督さんと相談しましたら今のスコアボードの脇、今計画している場所で十分です。というお話しをいただいているわけです。ですから、で、そのスコアボードがあの今のようなスコアボードが無ければ野球場でないなんてそれはちょっとおかしい話しであって、十分スコアボードがなくなって野球場ですよ。で、見えなようなスコアボードなんて売ってませんよね。それは一流のメーカーがスコアボードを規格品として売ってるわけですから、現に規格品を他の球場では使っているわけですから、そこはやっぱり何て言いますかね、理解をしていただきたいと思えますし、今の西会津町のあの野球場では私は今のスコアボードで十分活用できるっていうか、利用できる。で、スコアボードはセンターだけじゃなくて、ストライクボールのアウトの判定っていうのはバックネット裏にもあるわけです、出るわけですよ、それはあのそれこそあの猪俣議員なんか一番良く知ってるわけですよけれども、ピッチャーがそれを確認できるような所にある訳ですから、ですからやっぱり西会津町、今の状況を考えた時に、それだけの施設がやる、大きな施設のスコアボードいるかいないか、そこまで金をかけて私はやる必要はないというふうに思って、それでもやっぱり今BCリーグ、あるいは大学の野球が、野球チームが来るわけですから、それに十分間に合うものであれば十分ではないのかなということ今回そういう機種を選定させていただいたということでもありますので、ぜひご理解をいただきたいなというふうに思います。

○議長　6番、猪俣常三君。

○猪俣常三　ま、今の町長のご説明によく分かりました。まだ課長の方で説明をいただいた中で、どうしても理解ができないのは、今このミニ、まあスクリーンって言いますか、バックスクリーンで言いましょうか、あのこの所にあの名前等をお知らせすることできるという話しでありましたけれども、どのような所に入ってくるのかだけ示してください。この中ではそれぞれの打順票みたいなものが示されていないところなんですね。そしてもう一つは、何番打者がどういうふうにしてなってますよ、これ、表示されて、赤いマークがそれぞれこれ移ってくわけですけど、移動していくんですけども、そう



いう打順のお知らせする場所がないと私は見てるんですが、そこはどうなってるのかだけ、お尋ね申し上げます。

○議長 伊藤商工観光課長

○商工観光課長 6番議員の再々質問にお答えさせていただきたいと思います。

あのこちらの方の議案の説明資料の中であのイメージという形でバックネットの部分になっておりますが、一応こちらの方の打順がこの緑色の字の部分、あ、こちら2枚目ではなくてですね、1枚目の所でございますが、1枚目の右側の方の緑色の部分の、部分がですね、打順表示とこれはイメージ図ではなっていますが、一応こちらの方ですね、打者名表示もあの、仕様の中には入っております、漢字・カタカナ・英数字ができるようなものと、あと守備位置表示等もできるような形で、という形ですね、こちらの方もあの、仕様はしているということでございます。

ですので、得点ボードの下部分、下段の部分にある程度打順の表示が出るような形となっておりますのでご理解いただきたいと思います。あのこちら2面の表示はですね、全体的なこのいろんな各種メッセージ表示っていう部分で、その打順表示が入っていない形でございますので、その辺がちょっと大変失礼しましたということでございます。

○議長 これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

(「討論なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これから議案第2号、さゆり公園野球場スコアボード改修工事請負契約の締結についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

したがって議案第2号、さゆり公園野球場スコアボード改修工事請負契約の締結については原案のとおり可決されました。

本臨時会に付議されました事件は以上をもって審議終了いたしました。

町長よりあいさつがあります。

町長、薄友喜君。

○町長 本臨時会につきまして、2件の案件をご提案申し上げ、全議案原案のとおりご議決をいただきまして、誠にありがとうございました。

審議の過程で出ました皆さんからのご意見、十分にあのこれからの実施に向けての反映っていいですか、向けてしっかり検討を加えながら、あの皆さんから喜ばれるような施設を、にして参りたいというふうに考えております。今後とも何卒あのご理解とご心意を賜りますようお願いを申し上げます。

まだまだ残暑が厳しい時が続きますので、どうぞあの、皆さま方にもご自愛いただいて、今後の町政運営に是非ともご心意を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

○議長　これをもって、平成30年第4回西会津町議会臨時会を閉会いたします。  
(12時11分)